パーソナル・デジタルテレビ BTV-2200

かんたん操作ガイド

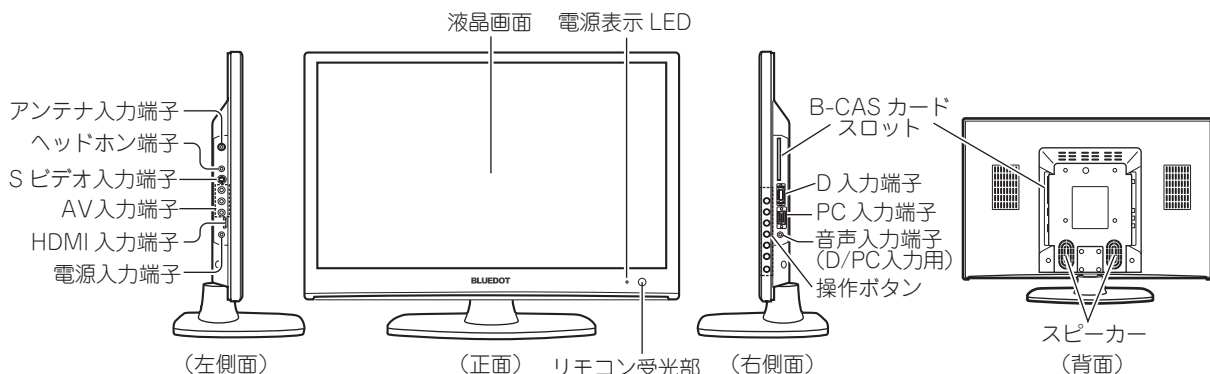
取扱説明書

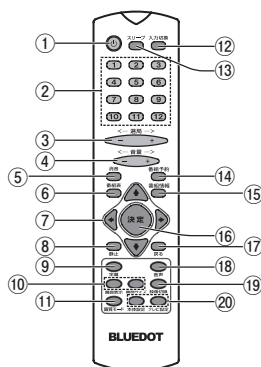
BLUEDOT®

本機は日本国内の地上デジタル放送に対応したテレビ受像機です。他国ではご利用いただけません。

**この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。**

本体と付属品 内容物をご確認ください。

- テレビ本体............1台
- スタンドおよび取付用部品(別紙参照)...........1式

- リモコン ....1 個
- 単4形乾電池(試供用)....2個

お知らせ 本書ではリモコン操作を中心に記載していますが、同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

① 電源ボタン
② チャンネルボタン(数字ボタン)
③ 選局(+、−)ボタン
④ 音量(+、−)ボタン
⑤ 消音ボタン
⑥ 番組表ボタン
⑦ 十字方向ボタン
⑧ 静止ボタン
⑨ 字幕ボタン
⑩ 画面表示ボタン
画面サイズボタン
⑪ 画質モードボタン
⑫ 入力切換ボタン
⑬ スリープボタン
⑭ 番組予約ボタン
⑮ 番組情報ボタン
⑯ 決定ボタン
⑰ 戻るボタン
⑱ 音声ボタン
⑲ 映像切換ボタン
⑳ 本体設定ボタン
テレビ設定ボタン

- AC アダプター ....1 個
- AV ケーブル ....1 組
- 取扱説明書 (本書) ....1 冊
- 保証書 ....1 枚
- クリーニングクロス ....1 枚
- AC アダプター収納ホルダー ....1 個
- アンテナケーブル .... 1 本 (1.8 m)
- スタンドの取り付け方ガイド ....1 枚
- B-CAS カード ....1 枚

◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

警　告

煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

内部に水や異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

指定以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

電源コード、アンテナケーブルを破損しないようにする。
火災・感電の原因となります。

電源プラグの付着物は取る。
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

分解、改造を行わない。
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

雷が鳴り始めたら電源プラグやアンテナケーブルに触れない。
火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。
火災・感電の原因となります。

異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。
火災・感電・故障の原因となります。

本機を落としたり大きな衝撃を与えたりしない。
電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で触れない。
感電の原因となることがあります。

過度のたこ足配線をしない。
火災・感電の原因となることがあります。

背面の放熱口に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く。
詰まったまま使用すると、火災・故障の原因となります。

大きな衝撃をあたえない。
液晶画面が割れたり、本機が故障・破損する原因となります。

本機を布などで覆ったり、背面の放熱口を塞いだりしない。
本機の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります

移動するときは本機に接続されているすべての配線を取り外す。
けが・故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池について安全上の注意

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。
電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。
破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

指定以外の電池を使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

新しい電池と使用済みの電池を混ぜて使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。
そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ
お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油汚れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

結露について
寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意
暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないよう注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

仕様上の注意
- ◆ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ◆ バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ◆ 本機を他のテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

補償について
何らかの不具合/故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

保証修理/交換
保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

本機を廃棄する場合は、家電リサイクル法に従ってください。

もくじ

① 地デジとは 3
② B-CASカードを挿入する 3
③ アンテナと電源を接続する 4
④ リモコンの準備 4
⑤ チャンネルを設定する 5
⑥ テレビを観る 6
⑦ 便利な機能 7
⑧ 外部機器と接続するとき 8
⑨ 各種設定を行う 9
故障かな？と思ったら 10
製品仕様 .... 12（裏表紙）

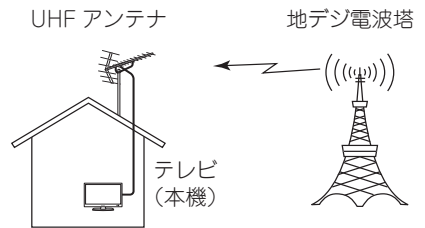
① 地デジとは

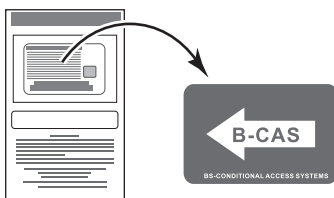
地上デジタル放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に切り換わります。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、ゴーストのないクリアな映像を実現するだけでなく、電子番組表の表示や字幕の表示といった新しいサービスも提供しています。

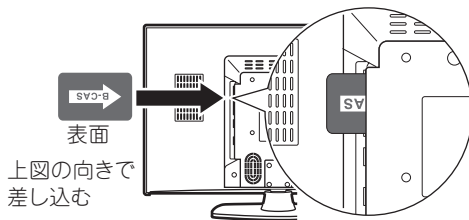
UHF アンテナ

地デジ電波塔

テレビ（本機）

* 本機は「BSデジタル放送」や「110度CSデジタル放送」など衛星放送、および「地上アナログ放送」の受信には対応していません。
* 本機は地上デジタル放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

② B-CASカードを挿入する

1 B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意の上でB-CASカードを外す

B-CAS カード台紙

2 B-CASカードを正しい向きで確実に挿入する

! 注意

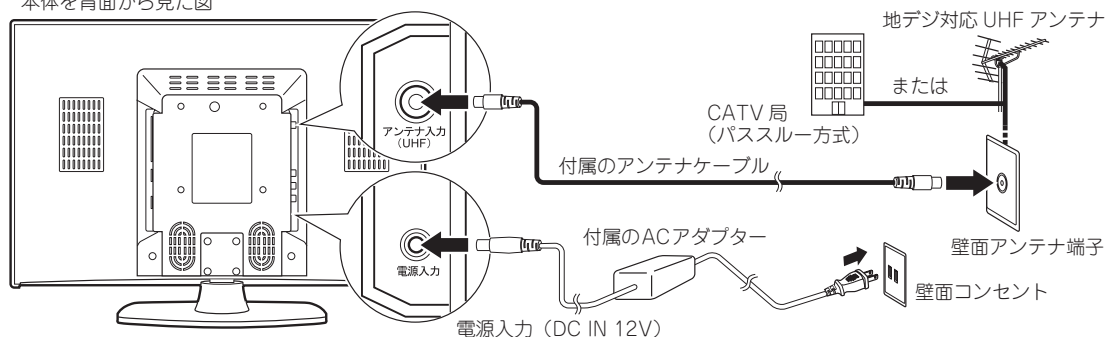
- B-CASカードの金属端子には触れないでください。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- B-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
- B-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
- B-CASカードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- 本機を使用中にB-CASカードを抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜く場合は、テレビの電源をオフにしてからACアダプターを外し、ゆっくり引き抜いてください。
- 他人がお客様のB-CASカードを使用して有料放送を視聴した場合、お客様の口座に視聴料金が請求されます。保管には十分ご注意ください。

破損・紛失などによりB-CASカードの再発行が必要な場合は…

詳しくは、B-CASカードの台紙に記載のある「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

B-CASカスタマーセンター：0570-000-250
（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：045-680-2868）

※その他、B-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

③ アンテナと電源を接続する

1 付属のアンテナケーブルを使って本体のアンテナ入力端子と壁面のアンテナ端子を接続する

2 付属のACアダプターを本体の電源入力端子(DC IN 12V)とコンセントに接続する

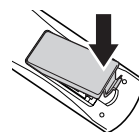
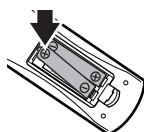
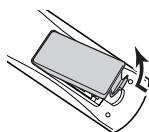
注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。
- 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分波器をご利用ください。
- 市販のアンテナケーブルを購入される場合は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。
- 次の場所や地域では受信できない可能性があります。
  (1) 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
  (2) 妨害波や電磁雑音が多い場合。
  (3) 地上デジタル放送が始まっていない地域。
- 地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)」までお問い合わせください。
  Dpaホームページ: http://www.dpa.or.jp/
  総務省 地デジコールセンター: 0570-07-0101(ナビダイヤルをご利用になれない場合は:03-4334-1111)
- 電波が弱い場所では増幅器(ブースター)を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器(アッテネーター)をご利用ください。

④ リモコンの準備

工場出荷時にはリモコンに電池が入っていません。以下の手順で付属の乾電池を入れてください。
電池を交換するときも、同様の手順で行ってください。

1. 電池カバーを外します

矢印の方向へ押して開きます。

2. 極性(+/-)に注意して電池を入れます

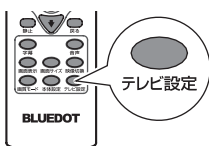
電池は**単4形電池**をご使用ください。

3. 電池カバーを元に戻します

⑤ チャンネルを設定する

1 電源ボタンを押す

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。
※ ご購入直後は「チャンネル設定を行ってください」というメッセージが表示されます。

2 「テレビ設定」ボタンを押す

画面上にテレビ設定メニュー画面が表示されます。

3 [受信設定]の[地域設定・(東京)]が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを押す

4 ▲▼ボタンを押してお住まいの地域を選び、「決定」ボタンを押す

右上に続く

5 ▲▼ボタンを押してお住まいの都道府県を選び、「決定」ボタンを押す

手順2の画面に戻ります。

6 ▲▼ボタンを押して[チャンネル自動設定]を選び、「決定」ボタンを押す

7 [探す(全チャンネル)]を選んで「決定」ボタンを押す

[探す（UHF13 〜 62CH）] を選んで UHF 放送帯のみから探すこともできます。

初期スキャンが始まります。

8 受信できるチャンネルが表示されます

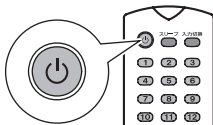
9 [更新する]を選ぶとチャンネルが登録されます

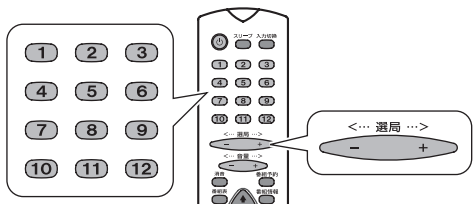
「戻る」ボタンを押すと放送受信状態になります。

これで初期設定は終了です。

注意 チャンネルが表示されない場合は、アンテナが正しく接続されているか、またアンテナケーブルに地上デジタル放送の信号が来ているか、受信レベルは十分かご確認ください。

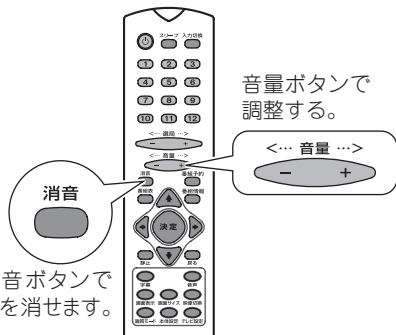
⑥ テレビを観る

1 電源を入れる

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。

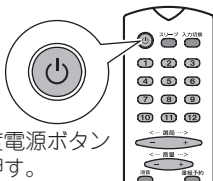
2 チャンネルを合わせる

チャンネル番号を直接押す

選局ボタンを使う

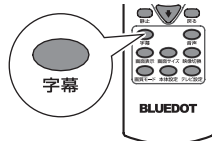
※ チャンネルが割り当てられていない番号を押しても「このボタンはチャンネル登録されていません」と表示され、チャンネルは変わりません。

3 音量を合わせる

音量ボタンで調整する。

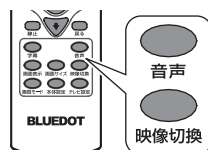
消音ボタンで音を消せます。

4 電源を切る

再度電源ボタンを押す。

※ 番組表の取得中やソフトウエアの更新中などは、電源表示 LED が青く点灯することがあります。

字幕表示に切り換える

＜字幕表示オフ＞　＜字幕表示オン＞

字幕のある番組では、ボタンを押すごとに表示/非表示を切り換えることができます。

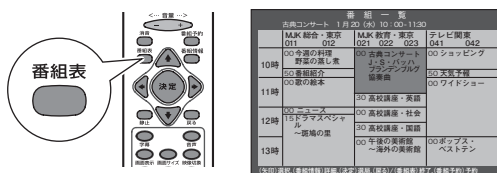
第2音声/第2映像に切り換える

第2音声や第2映像が含まれている番組では、ボタンを押すごとに切り換えることができます。

番組表を表示する

番 組 一 覧

古典コンサート　1月20（水）10：00-11:30

	MJK 総合・東京 011 012	MJK 教育・東京 021 022 023	テレビ関東 041 042
10時	00 今週の料理 野菜の蒸し煮 50 番組紹介	00 古典コンサート J・S・バッハ ブランデンブルグ協奏曲	00 ショッピング 50 天気予報
11時	00 歌の絵本	30 高校講座・英語	00 ワイドショー
12時	00 ニュース 15 ドラマスペシャル 〜斑鳩の里	00 高校講座・社会 30 高校講座・国語	
13時		00 午後の美術館 〜海外の美術館	00 ポップス・ベストテン

（矢印）選択.（番組情報）詳細.（決定）選局.（戻る）/（番組表）終了.（番組予約）予約

番組表ボタンを1回押すと番組表を表示します。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

番組情報を表示する

古典コンサート　021 MJK 教育・東京　2

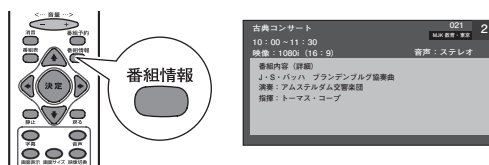
10：00 ~ 11：30

映像：1080i（16：9）　音声：ステレオ

番組内容（詳細）

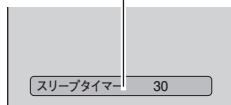
J・S・バッハ　ブランデンブルグ協奏曲

演奏：アムステルダム交響楽団

指揮：トーマス・コープ

番組情報ボタンを1回押すと番組の情報を表示します。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

便利な機能

スリープ機能（オフタイマー）を利用する

指定した時間後に、自動的に電源をオフにすることができます。

※ ボタンを押すごとに指定時間が変わります。

オフ→ 30分→ 60分→ 90分→ 120分→ 180分→オフ

番組予約（視聴予約）を行う

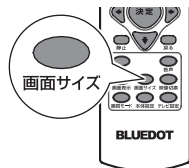
指定した番組の開始時間にテレビを自動的にオンにして、その番組を視聴することができます。

番組表ボタンを押す

十字方向ボタンで番組を選ぶ

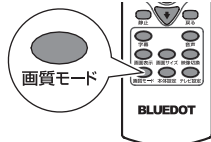
※ 1回につき1番組だけ予約できます。
※ 録画機能ではありません。
※ 解除するときは、指定した番組をもう一度選択してください。

画面サイズを変更する

外部入力時の画面サイズを切り換えて、映像を伸縮させることができます。

※ ボタンを押すごとに画面サイズが切り換わります。
但し、外部入力の種類によって設定できる項目は異なります。

フル	：映像全体を表示します。
ズーム1、2	：映像を拡大して表示します。
4:3	：4:3 サイズで表示します。

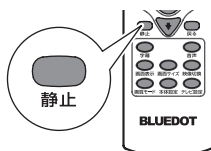
画質モードを変更する

好みに応じて、画質モードを変更することができます。

※ ボタンを押すごとに画質モードが変わります。

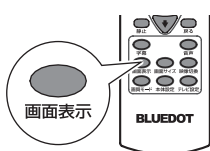
標準→ダイナミック→映画→ユーザー→標準

※ ユーザー設定は、本体設定での調整が反映されます。

テレビ画面を一時静止する

現在の画面を表示しつづけることができます。

※ もう一度押すと視聴画面に戻ります。

画面情報を表示する

番組名とチャンネル名を表示することができます。

※ 外部入力時は、入力映像の種類とスリープ機能の設定を表示します。
※ しばらくすると表示が消えます。

⑧ 外部機器と接続するとき

ヘッドホンを接続すると本体
スピーカーの音は消えます。

D端子（D4まで）

Sビデオケーブル

S映像

黄

映像

映像/音声入力

白

左

音声

右

赤

VGA ケーブル

PC入力（VGA）

音声入力（D/PC共用）

HDMI
入力

ミニプラグ付き
オーディオケーブル

付属のオーディオケーブル

HDMI ケーブル

付属のビデオケーブル

D 映像ケーブル

ミニプラグ付き
オーディオケーブル

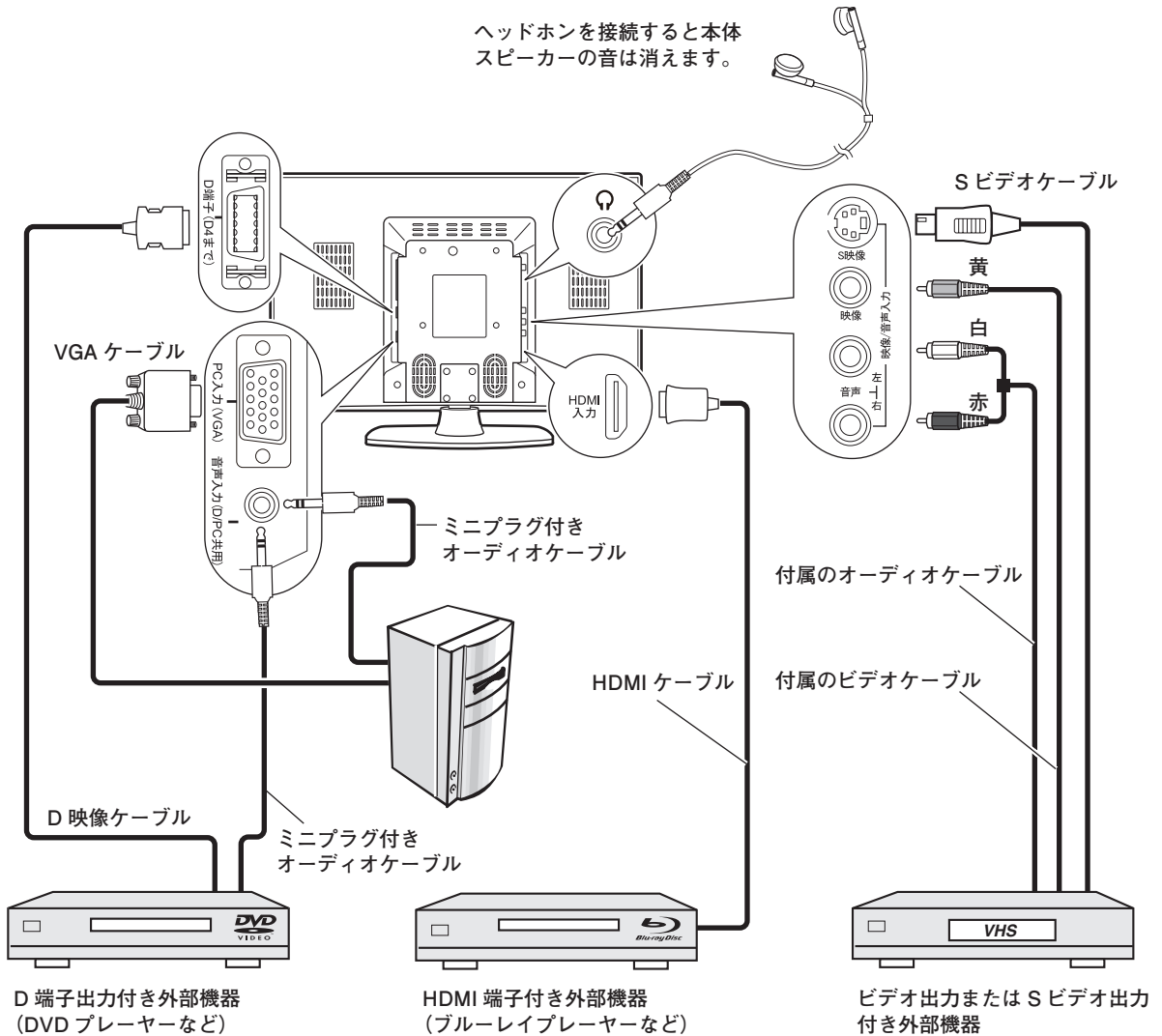
DVD VIDEO

Blu-ray Disc

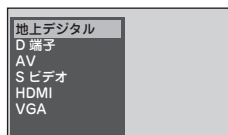
VHS

D 端子出力付き外部機器
（DVD プレーヤーなど）

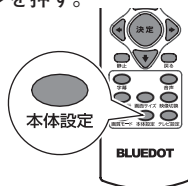
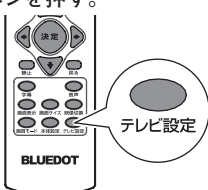
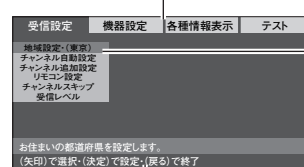
HDMI 端子付き外部機器
（ブルーレイプレーヤーなど）

ビデオ出力または S ビデオ出力
付き外部機器

※ 外部機器と接続するときは、本機と接続する機器の電源を切って、電源プラグを抜いてから行ってください。
※ 外部機器の端子の規格に合わせて本機と接続します。接続する前に外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
※ 出力される映像はHDMI端子、D端子、Sビデオ端子、ビデオ端子（黄色）の順に高画質です。
※ ビデオケーブル（黄色）とSビデオケーブルは、どちらか一本を接続してください。
※ D端子に接続するときは、市販のオーディオケーブル（3.5mm ミニプラグ付き）も同時に接続してください。

外部入力の映像を表示するには

入力切換ボタンを押します。

※ ボタンを押すごとに入力が切り換わります。
地上デジタル→ D 端子→ AV → S ビデオ
→ HDMI → VGA →地上デジタル

※ ビデオ端子(黄色）に接続した機器は [AV] を
選択してください。

⑨ 各種設定を行う

[本体設定]で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
映像設定	コントラスト	画面のコントラストを調整します。
	明るさ	画面の明るさを調整します。
	色合い	画面の色合いを調整します。
	彩度	画面の彩度を調整します。
	シャープネス	画面のシャープネスを調整します。
	色温度	画面全体の色調を標準、暖色または寒色に切り換えます。
	画面サイズ	画面のサイズ(縦横比)を切り換えます。 [選択項目]:フル、ズーム1、ズーム2、4:3
	画質モード	再生ジャンルにあわせた画質に切り換えます。 [選択項目]:標準、ダイナミック、映画、ユーザー
	3D ノイズリダクション	映像のノイズを低減する回路の強弱を切り換えます。 [選択項目]:オフ、弱、中、強
	MPEG ノイズリダクション	映像のノイズを低減する回路の強弱を切り換えます。 [選択項目]:オフ、弱、強
音声設定	バランス	左右の音声のバランスを調整します。
	音声モード	再生するジャンルに合わせた音質に切り換えます。 [選択項目]:標準、映画、音楽
	自動音量調整	音量を自動的に調整します。
	サラウンド	音の広がりを増大します。
機器設定	OSD表示言語	メニュー画面の表示を日本語または英語(English)に切り換えます。
	OSD水平位置	OSD画面の横方向の位置を調整します。
	OSD垂直位置	OSD画面の縦方向の位置を調整します。
	OSD表示時間	OSD画面を表示する時間を調整します。
	スリープタイマー	電源を自動的にオフにするまでの時間を切り換えます。 [選択項目]:オフ、30分、60分、90分、120分、180分
	省エネモード	バックライトの輝度を下げて消費電力を低減するか、 逆に輝度を上げて明るい場所でも観えやすくするかを切り換えます。
	ユーザーリセット	本体設定メニューで変更した項目をすべて工場出荷状態に戻します。

※ 入力切換でHDMI やVGA を選択したときは、「PC モニター設定」が表示されます。
※ 外部入力の種類によって設定できる項目は異なります。

各種設定を行う（続き）

［テレビ設定］で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
受信設定	地域設定	本機を使い始める前にお住まいの地域を設定します。
	チャンネル自動設定	お住まいの地域設定に合わせて受信できるチャンネルを自動的に設定します。
	チャンネル追加設定	放送局の追加をするときに再設定します。
	リモコン設定	リモコン番号を選んで、お好きな放送局を割り当てます。
	チャンネルスキップ	受信できる放送局でも普段視聴しない放送はリモコンで選局をスキップするように設定できます。
	受信レベル	チャンネルを選ぶと受信強度を表示させます。
機器設定	暗証番号	暗証番号を設定します。暗証番号は［テレビ設定］メニューで設定した内容を工場出荷状態に戻すときに必要になります。暗証番号を忘れると元に戻せませんので忘れないようにしてください。 **［設定（更新）方法］** ① ［テレビ設定］ボタンを押し、テレビ設定メインメニュー画面から ボタンを押して［機器設定］を選択。 ② ボタンを押して［暗証番号］を選択し、「決定」ボタンを押す。 ③ ［更新する］を選び「決定」ボタンを押す。 暗証番号入力画面が表示されますので、数字ボタンですでに設定してある暗証番号（工場出荷時は9999）を入力します。 暗証番号が合っているときは「新しい暗証番号を入力してください」と表示されますので、数字ボタンで新しく設定する４桁の暗証番号を入力し、「決定」ボタンを押すと新しい暗証番号が登録されます。
	字幕・文字スーパー	字幕と文字スーパーの表示を切り換えます。（この場合の字幕・文字スーパーとは画面にはじめから表示されているテロップとは異なり、放送局から文字データーとして送信されるもので、番組によっては文字データが送信されていない場合もあります。） ［選択項目］：なし、第１言語、第２言語
	音声切換	音声出力を切り換えます。番組によって副音声を送信していない場合もあります。その場合はステレオ、モノラル（主音声のみ）になります。 ［選択項目］：主音声、副音声、主＋副（主音声と副音声を同時に出力）
	番組表取得設定	放送局から送られてくる番組表を取得するかしないかの設定をします。 ［選択項目］：取得する、取得しない
各種情報表示	B-CAS情報	お使いのB-CASカードの情報を表示します。
	バージョン情報	お使いの機器のソフトウエアバージョンを表示します。
	放送メール	放送局から送られてくるメール情報や、本機の更新情報などを表示します。
テスト	B-CASテスト	B-CASカードの働きをテストします。
	全設定消去	お客様が［テレビ設定］メニューで設定した内容をすべて工場出荷状態に戻します。 はじめに４桁の暗証番号を入力します。（工場出荷時は9999）

故障かな？と思ったら

テレビが映らない

・テレビの電源がオンになっているかご確認ください。

・AV入力モード（外部入力モード）になっていないかご確認ください。

・アンテナケーブルが各端子にきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。

・チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。

・受信レベルが低すぎる可能性があります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。60%以上が推奨値です。

▶ 分波器をご利用の場合は、外して直接接続してみてください。

▶ 増幅器（ブースター）を利用すれば受信レベルを改善できる場合があります。

※ 特に放送局から遠く離れている場合や、室内アンテナをご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できない場合があります。

・受信レベルが高すぎる可能性があります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。減衰器（アッテネーター）を利用すれば受信レベルを改善できます。

・UHF アンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。

・ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合、ケーブルテレビ局に「CATV パススルー方式」で送信しているかどうかご確認ください。

・ご使用の地域で地上デジタル放送が始まっていない場合は受信できません。

電源が入らない

・AC アダプターがコンセントおよび本体に正しく接続されているかご確認ください。

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

音声が出ない

・音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。

・消音状態になっていないかご確認ください。

・ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。

リモコンが効かない

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

・リモコンの電池の向き（極性）が正しいかご確認ください。

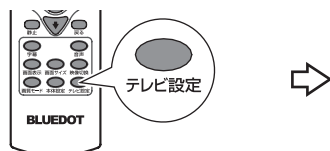
・リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。リモコンはテレビ正面方向から操作してください。

番組予約（視聴予約）が機能しない

・番組予約を設定しているときは、指定した時間の約２分前にテレビの電源がオンになりますが、最初は前回視聴していたチャンネルが表示されます。指定した時間の直前に、自動的にチャンネルが切り換わります。

・外部入力の映像を表示中に指定した時間がきたときは、番組予約は機能しません（テレビには切り換わりません）。

受信レベルの確認方法

① リモコンの「テレビ設定」ボタンを押す

② ［受信設定］の項目から▲▼ボタンを押して［受信レベル］を選び、「決定」ボタンを押す

③ ▲▼ボタンを押して確認したいチャンネルを選び、「決定」ボタンを押す

製品仕様

型名	BTV-2200
受信機型サイズ	22V型
画面サイズ(幅×高×対角)	47.7×26.8×54.8cm
画面画素数(水平×垂直)	1920×1080画素 フルハイビジョン
放送方式	UHF： 13ch～62ch (ISDB-T地上デジタル放送) ※CATVパススルー対応
外形寸法(幅×高×奥行)	523×372×167mm (スタンドを含む) 523×334×39mm (スタンドを含まず) ※最薄部は18mm
本体質量	約4.5kg (スタンドを含む) 約4.0kg (スタンドを含まず)
電源	入力：AC 100V 50/60Hz 出力：DC 12V 3A ※専用ACアダプターを付属
消費電力	最大時：約40W 通常視聴時：約21W (弊社実測値) 待機時：約0.59W
年間消費電力量	約37.7kWh/年
入出力端子	HDMI入力×1、D入力×1, Sビデオ入力×1、AV入力(コンポジット)×1, PC入力(VGA、ミニD-sub 15ピン)×1, 音声入力(D/PC入力用、3.5mmミニプラグ)×1, ヘッドホン出力(ステレオ)×1, アンテナ入力(F型、インピーダンス 75Ω)×1, 電源入力×1、B-CASカードスロット×1

※BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上アナログ放送には対応していません。
※データ放送や双方向サービスには対応していません。

困ったときは

本書をお読みいただいても問題が解決しないときは、まずはホームページの『**FAQ** (よくあるご質問と答え)』をご活用ください。
http://www.bluedot.co.jp/support/

BLUEDOT® 株式会社

〒103-0004　東京都中央区東日本橋2-22-2　E,S 林ビル 1F
E-mail：info@bluedot.co.jp
http://www.bluedot.co.jp

お客様サポートセンター

TEL: 0570-010080(ナビダイヤル)
※ナビダイヤルをご利用になれない場合は 03-5825-2245 まで
FAX: 03-5825-5529
E-mail：support@bluedot.co.jp
ご利用時間：午前10時から午後5時まで(土・日・祝日・会社指定休日を除く)

1002A